

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2026年 1月 14日 ~ 2026年 1月 24日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 14日 ~ 2026年 1月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 24日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で支援について連携が取れている。季節に応じたイベント等を行い季節感を味わえるよう努めている。 建物が新しい為、環境整備を図りやすく良い支援の提供を行える。	残業を行わないよう、支援に入る時間と業務を行う時間を設け職員が平等に行えるよう交代で業務時間を設けている。	「環境体制整備」 ・敷地内の外灯が少ないので、外灯を付ける。 ・体調不良時等の休息を取れるようにベットやマットレスの設置を行う。 ・敷地内のフェンスを活用し、敷地内外活動の場を設ける。 ※過半数以上、要望があった項目を記載している。
2	保護者様への引継ぎ時に園での様子をより詳細に伝える事を意識している。 また、利用している児童の成長や成功体験を保護者様と共に感する事で保護者様の安心、信頼を得る事が出来ている。	保護者様への引継ぎ時画一的な報告ではなく、具体的な行動や活動種や成長を感じられた点を伝え、成長の喜びを分かち合うようコミュニケーションを図るよう努めている。	「関係機関や保護者との連携、説明」 ・関係機関との関わりがあまりない為、スーパーバイザーを招いて研修会を行ったり、家族参加型の行事等を行うことで保護者同士との親睦も深めていける機会を設ける必要がある。 ※過半数以上、要望があった項目を記載している
3	毎週土曜日、長期休み時には公園や公共施設に行き、地域住民や他児童とも関わる場を設けている。実際に公共の場で過ごす事でルール等を学ぶ機会を設ける事が出来ている。	地域の住民とあった際には挨拶をするように心がけ、他児童が使用している遊具は順番で行う事を伝え、譲り合いの気持ちを育む機会を設けている。	「地域住民を招待する取り組み」 ・地域住民を招待する仕組みが現状無い為、行事等を開催する際に地域住民にも声を掛け、共生社会を目指していく必要がある。 ※過半数以上、要望があった項目を記載している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「環境体制整備」 建ったばかりで整備が完全に済んでいない為、時間を見つけ環境整備に努めなければならない。 また、事業所まで駅から遠く交通機関等の使用が難しい為、事業所への移動手段を模索する必要がある。	整備が完全ではないが故に怪我や事故に繋がる恐れがある為、早急に検討し施設の環境整備に努める必要がある。	稟議書等で上長へ打診しリスク等を伝え承認を得る必要がある。
2	「関係機関や保護者との連携、説明」 保護者様とのコミュニケーションが足りない為、保護者様参加型のイベントを開催したり、保護者様同士で繋がれるような場の提供を行う必要がある。	保護者様参加型のイベントが実施出来ていない為、今後感染症対策を行った上で計画を立て、保護者様との交流会や相談会を開く必要がある。	会議等で議題にあげ企画担当者を作り実行に移す必要がある。
3	「地域住民を招待する取り組み」 夏祭り等大きな行事を実施する際に他事業所、地域住民や学校にポスター等の配布やSNS等を活動により多くの地域住民との交流はを行う必要がある。	コロナウイルスが5類になり感染防止対策緩和により、本年度は保護者様参加型の行事を段階的に開始している。 しかしながら、地域住民の方への参加の案内が行えていない為、SNS等幅広い情報発信の手段を模索する必要がある。	管理者等へ相談し、どこまでの交流までなら可能かを確認し、企画の作成を行い実行に移す必要がある。 また、事業所の様子を誰でも気軽に見る事が出来るよう、SNSの活用や管理方法を管理者へ相談する必要がある。